

盛岡市議会会派「絆の会」平成27年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【市長公室関係】</p> <p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方中枢拠点都市として広域市町との連携で産業振興や医療福祉・防災・環境・交通・教育・<u>人事交流</u>の連携を促進されたい。特に、施設の機能分担や県との二重行政の解消を促進されたい ・ 市の各種審議会や協議会の活性化や各層の参加を強化されたい。また、特定の人へ偏ることを防いで頂きたい <p>【総務部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災被災者に対する支援を継続されたい。それと同時に被災者が盛岡の地域に溶け込むための施策を推進されたい ・ 職員を市外県外国外へ研修で派遣されたい。また、職員コンプライアンス教育の徹底をされたい 	<p>[人事交流部分のみ]</p> <p>職員の人事交流につきましては、平成21年度から広域市町村長懇談会において共有可能な研修について相互に参加を呼び掛け、実施しております。今後におきましても、職員間の相互理解と能力・資質向上のため継続実施していくとともに、人材育成を含めた定期的な情報交換を実施してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部職員課）</p> <p>各種審議会等につきましては、「審議会等の設置等及び委員の選任に関する指針」を定め、より多くの市民の市政への参画を進めるため、公募委員枠の導入や女性委員の登用の推進に努めるとともに、当該団体の長に固定した人選とならないよう配慮しているところです。今後も、審議会等の所管部署を中心に適正な委員構成となるよう、専門的知識の必要性など、委員に求められる要件を十分に勘案し、実効性のある審議会等の運営に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部職員課・市民部男女共同参画青少年課）</p> <p>東日本大震災で被災された方々への支援につきましては、平成23年6月に策定した「東日本大震災に係る盛岡市復興推進の取組方針」に基づき、各般の施策を実施してきたところです。また、平成26年3月には、平成26年度から28年度までを取組期間とする新たな取組方針を策定の上、具体的な取組内容を取りまとめております。</p> <p>引き続き、被災者・被災地のニーズの把握に努め、必要な支援を行ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部危機管理防災課）</p> <p>職員の派遣研修につきましては、毎年、市町村アカデミー等、県外の研修機関へ派遣するなど、職員の能力開発に努めているほか、職員の見聞を広げることを目的とし、各部署における先進地視察や岩手県市町村振興協会主催の行政調査研修、他団体の職員との交流を伴う研修などにも積極的に派遣しているところです。今後におきましても、派遣研修等を通じた人材育成を図ってまいります。</p>

盛岡市議会会派「絆の会」平成27年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員OBを緊急時予備役として招集できる体制を取って頂きたい ・ 地域防災計画の市民への浸透を図りたい。また自主防災隊組織への予算措置を検討されたい。また、災害時の市民への情報提供のあり方について検証されたい ・ 旧玉山支所の消防屯所へ和室休憩室を整備し、日戸地区防災拠点とされたい 	<p>また、職員に対するコンプライアンス教育につきましては、「盛岡市市政における公正な職務の執行の確保に関する条例」に基づき、新採用職員や中堅職員、係長級職員を対象とした全ての階層別研修に加え、管理職や技能労務職を対象とした特別研修において、コンプライアンスに関する研修を実施しているほか、「職員倫理規程」に基づき、各職場において月1回以上の服務に関するミーティングを実施しているところです。今後におきましても、コンプライアンスに係る研修に加え、職場での取組の徹底により、公務員倫理及び法令遵守に関する職員の意識の徹底と職場風土の改革に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部職員課）</p> <p>職員OBを緊急時予備役として召集できる体制につきましては、豊富な行政経験を有した人材の活用という観点から、災害時、緊急時の体制整備のための方策のひとつと考えられますことから、自然災害を含めた今後の市の危機管理体制の整備を図る中で、研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部危機管理防災課、職員課）</p> <p>地域防災計画につきましては、自主防災組織の結成促進と組織の育成強化にあわせて周知に努めているところであり、今後とも、出前講座等の機会を活用しながら、市民への浸透を図ってまいります。</p> <p>また、自主防災組織への予算措置につきましては、平成19年度から自主防災組織育成事業として、コミュニティ地区を対象に地区内の各町内会に防災資器材等を配布してきたところですが、今後におきましても、コミュニティ地区単位での自主防災組織の結成を働きかけながら、各地区の活動支援を継続してまいります。</p> <p>また、災害時の市民への情報提供につきましては、市のホームページや防災行政無線での広報、各報道機関へのリリース、町内会・自治会への連絡などにより行っておりますが、引き続き、効果的な情報提供の方法や仕組みについて研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部危機管理防災課・消防対策室）</p> <p>市消防団第24分団2部日戸の現在の消防屯所は、昭和53年建築の建物で、約40㎡の車庫と約30㎡の休憩室が備えられているところではありますが、老朽化も懸念されることから、市内の他の消防屯所等の状況を踏まえながら、計画的に整備を進めてまいりたいと</p>

盛岡市議会会派「絆の会」平成27年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常勤の障がい者の複数年度採用の方法を検討し、実施されたい。また障がい者法定雇用を維持するようにされたい 	<p>存じます。</p> <p style="text-align: right;">（総務部消防対策室）</p> <p>非常勤職員については、業務の必要性に応じ、1年を超えない範囲で期間を定め任用しており、必要に応じ、再度の任用を行うなど柔軟に対応しているところです。複数年雇用については、雇用不安を解消する方策の一つと考えられますが、当初から複数年で雇用することについては、雇用のミスマッチ等も懸念されることから、業務継続の必要性や任用に対する希望等を十分に確認した上で、任用の更新等を行ってまいりたいと存じます。</p> <p>また、障がい者の法定雇用率につきましては、身体障がい者を対象とした特別枠の職員採用試験や「障がい者の非常勤職員名簿登録制度」を活用した非常勤職員の採用により、必要人員は充足しているところですが、市を始めとした公的機関は、障がい者の方々の雇用の促進について民間事業主に対し率先垂範すべき立場にありますことから、引き続き、障がい者の雇用の場の確保に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部職員課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所の建て替えについて市民アンケートを実施して頂きたい(場所や合併協定を含め) 	<p>市庁舎の建て替えにつきましては、行政運営上極めて重要な課題であり、市民の意見を広く聴きながら事業を進めていく必要があると考えております。今後、庁舎建設の方向性が明らかとなり、事業スケジュールを策定していく段階において、市民アンケートについても検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（総務部管財課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本庁や近隣施設（県や放送局と連携）にタクシー乗り場を設置していただきたい 	<p>本庁舎のタクシー乗り場設置につきましては、本庁舎の耐震工事が終了し、正面に駐車スペースが確保できたことから、6月にタクシー乗り場（1台分）を設置いたしました。</p> <p>なお、県振興局や近隣放送局では、タクシー乗り場を設置する予定はないと伺っております。</p> <p style="text-align: right;">（総務部管財課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 条例を制定するだけでなく、条例の廃止 	<p>条例の廃止や条項の変更につきましては、法令として一定の規律性を保ちながら、関</p>

盛岡市議会会派「絆の会」平成27年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>や時代にあった条項の変更も行われたい</p>	<p>係法令の改正や施策の方向を考慮し、検討を加え、必要な改正や廃止を行っておりますので、今後とも必要に応じて所要の措置を講じてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部総務課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 洪水ハザードマップの内容を確定前に公表し、市民の意見を反映させていただきたい 	<p>各地域の危険情報を住民が予め認識しておくことは重要なことであり、また、洪水等の災害時には市民の皆さまに迅速かつ安全に避難していただかなければならないことなどを勘案いたしますと、洪水ハザードマップ等は、地域の実情を考慮しながら作成する必要があるものと存じます。</p> <p>これらのことを踏まえまして、市民の皆さまの声をお聴きしながらマップの作成を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部危機管理防災課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体クラウドの導入をされたい 	<p>自治体クラウドの導入についてですが、住基データ等につきましては、既に庁外の堅牢なデータセンターに設置するなど、クラウド化を進めております。今後とも庁舎内にある各業務系システムについても、同様のクラウド化に向けて検討してまいりたいと存じます。</p> <p>また、番号制度導入に係る中間サーバーの設置につきましては、共同利用を前提としたクラウド化を進めることとしております。</p> <p style="text-align: right;">（総務部情報企画室）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 未利用市有財産の処分や活用を促進されたい 	<p>「第二次盛岡市自治体経営の指針及び実施計画」において、平成25年度から27年度までの3カ年の活用目標額を16億円と定め、未利用市有地・保留地の処分・貸付等の有効活用に取り組んでおります。</p> <p>今後とも未利用市有財産の効率的な利用を促進するとともに、新たな利活用の方法について研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部管財課財産活用推進室）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地開発公社の今後について示されたい 	<p>土地開発公社は、公共用地の取得価格を軽減するため、地方公共団体にかわって土地の先行取得を行うことなどを目的として作られた団体であり、近年、地価の下落傾向が続いていることから、その存在意義が少なくなりつつあるものと認識しております。</p>

盛岡市議会会派「絆の会」平成27年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
	<p>現在，盛岡広域土地開発公社が先行取得している土地は，平成29年度に全て処分が完了する予定となっており，また，新たな先行取得の見込みがないことから，その存廃を含め，今後の公社運営について，構成している自治体と協議する必要があるものと考えております。</p> <p style="text-align: right;">（総務部管財課）</p>